

I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

II、本年度の指導の重点

- 1、様々な人や自然との触れ合いを通して、豊かな心と体を育てる
- 2、様々な物事に興味、関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などを育てる

III、自己評価の状況

◎目標を上回る

○目標に達する

△目標に届かない

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園の運営について	△	園の教育理念、教育方針に従い編成した教育課程を評価見直しする事が出来るようになった。しかし教員間での保育を見せ合い、評価、反省をし、幼児の生活と自らの保育につなげていくことがまだ弱い
2	保育の在り方、幼児への対応	○	自分のクラスの幼児だけでなく、バス内や外遊び等広い範囲で教職員が一人ひとりの幼児を観察しているが、子どもの見方、保育の工夫、遊びの展開が不足している面が多い。
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	明るい挨拶や感謝の気持ちを言葉で伝え、必要な事を報告し合う事が出来ている。限られた人数の教員、限られた時間の中で効率よく行う努力がさらに必要である
4	保護者への対応・守秘義務	◎	園での様子、トラブル、怪我など保護者に面談や電話等連絡し、きめ細やかな対応が出来ている。園生活の様子を文字だけではなく写真を使用し、視覚から伝えることができていた。 しかしコロナ感染予防の為、保護者と直接話す機会が減り、信頼関係が薄くなっている
5	地域の自然や社会とのかかわり	○	保育内容が小学校以降の生活や学習の育成につながる事、また小学校が園での子ども達の育ち等についてどのような情報を必要としているのか理解するよう努めている。 地域の自然や機関を指導計画の中に位置づけて活用することがまだ弱い
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	○	研修で学んだことを保育に取り入れているが、積極的に研修に参加することができていない
7	地域における子育て支援	○	新型コロナウイルス感染対策を行ないながら園庭開放を行っているが利用者数が少ない。地域の子育て支援ニーズを把握し、地域へ自園の子育て支援事業のアピールを強化する

## IV、保護者評価の状況

回収率 82.4%

	評価項目	結果	評価内容
1	子どもの成長について	◎	喜んで通園し友達や先生と一緒に過ごす楽しさの中で、いろいろな遊びに興味を持つようになり、体を動かしたり、描いたり作ったりすることを楽しめるようになった。 生活に必要な言葉が言えるようになったが、相手の話を聞く事はもう少し身につけてほしい
2	園の運営について	◎	新型コロナ感染拡大する中でも予防対策を行い、いろいろな行事を工夫し実施している事が評価できる
3	家庭との連携について	◎	一人ひとりの幼児について、個別に情報を伝え、幼児理解を深められている。また、相談に誠実に対応していることが評価できる

## V、総合的な評価結果

評価	理由
B	新型コロナウイルス感染拡大する中で、少ない教員で話し合い、工夫して計画し、行事本来のねらいも達成することができた。その中でも子どもたちはのびのびと外遊びや表現活動など、多くの経験をし、自分の思いを伝え、相手の思いを受け入れ、刺激しあいながら、徐々に相手を思う思いやりの気持ちが持てるようになり、子ども達の豊かな心や体が育っていった。また友だち同士の関わり合いが深まっていくと、友だちの真似をしてみたり、不思議に思う気持ちや疑問に思ったことを聞いたり、調べたりし、自分から知ろうとする知的好奇心、思考力も育ってきた。子ども達がもっと主体的な活動ができるために、今後教員間での情報交換や保育の振り返りを行い、よりよい保育を目指していく。

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

## VI、今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	・子どもの姿、成長を保護者と共に喜びあっている幼稚園の姿を外部へアピールする	・子ども達の様子をHPやポートフォリオ等活用しながら、子どもの姿にはどのような学びがあったのかをポイントをおさえ保護者にもわかりやすく伝えると共に保護者と幼稚園との良好関係が保たれている良さを外部へアピールし、園児獲得につなげていく。
2	・保護者や地域の子育て世代の方々へ向けた、子育てパートナーの役割を果たす	・子育ての悩みや相談等気軽に話しあえる場の提供や専門講師への依頼をし、講座開催を実践する

## VII、学校関係者評価委員の評価

・新型コロナ感染拡大対策やバスの事故対策においてもしっかりと対策がなされており、また園だより、クラスだよりにより写真の掲載が多く、園での子ども達の普段の様子が変わりやすく伝えていたことが保護者にとって安心して通園させられていることに高く評価することができる。